

2022年度

人が集まる「人」をつくる、大学。



四国大学 第1回 瀬戸内寂聴 青春エッセイコンクール

高等学校在学学生対象



作家 瀬戸内寂聴とは

1922(大正11)年5月15日、徳島県徳島市に生まれる。本名 瀬戸内晴美。
徳島県立徳島高等女学校を経て、1943(昭和18)年、東京女子大学を卒業。1957(昭和32)年「女子大生・曲愛玲」で新潮社同人雑誌賞受賞。1961年「田村俊子」で田村俊子賞、1963年「夏の終り」で女流文学賞を受賞。1973年11月14日平泉中尊寺で得度(法名:寂聴)。1992(平成4)年「花に問え」で谷崎潤一郎賞、1996年「白道」で芸術選奨、2001年「場所」で野間文芸賞、2011年に「風景」で泉鏡花文学賞を受賞。
2000年に徳島市名誉市民。2006年に文化勲章を受章。2004年から2014年まで徳島県立文学書道館館長を務める。
著書に「比叡」、「かの子撩乱」、「美は乱調にあり」、「現代語訳源氏物語」、「秘花」など多数。
2021年(令和3年)11月9日逝去。



受付番号

四国大学 第1回 瀬戸内寂聴青春エッセイコンクール

応募用紙

※太枠内に必要事項をご記入ください。

ふりがな			
執筆者氏名			
ふりがな			
学校名			
学校の郵便番号住所	〒		
ふりがな	学校のTEL・FAX		
担任教員氏名	学校のMailアドレス		

人が集まる「人」をつくる、大学。



〒771-1192 徳島県徳島市応神町古川字戎子野123-1
TEL.088-665-1300(代表) FAX.088-665-8037
<https://www.shikoku-u.ac.jp>



四国大学 第1回 瀬戸内寂聴 青春エッセイコンクール

趣旨

徳島県の出身で、『夏の終り』、『花に問え』、『場所』などの多くの小説を執筆した作家瀬戸内寂聴氏は、一方で『寂聴巡礼』、『嵯峨野より』、『放浪について』など優れたエッセイも多数残されています。

また2000年には徳島市名誉市民、2004年から10年間、徳島県立文学書道館の館長を務めるなど、古里・徳島の文化振興にも大きな足跡を残されました。本学では、瀬戸内寂聴氏の文学的功績を後世に伝えるため、四国大学「瀬戸内寂聴青春エッセイコンクール」を創設しました。

「瀬戸内寂聴青春エッセイコンクール」のもう一つの目的は、若い世代の文学的才能の開花です。明日の文芸文化を担う新たな才能を発掘するとともに、受賞者のその後のさらなる飛躍の後押しもできればと考えています。多くの生徒さんからのご応募をお待ちしております。

四国大学 学長 松重和美



対象

高等学校在學生

応募規定

個人のエッセイ作品。自身の体験、意見、想い等を自由に執筆してください。
応募作品は1人1作品。400字詰め原稿用紙換算5枚以内(タイトルを含む)。A4用紙に縦書きで印字するか、市販の原稿用紙で応募いただけます。

審査

応募作は予備審査を経て、最終選考に残った作品について四国大学にて各賞を決定します。

最終選考委員

阿部 曜子(四国大学文学部長)
佐々木 義登(四国大学文学部 日本文学科教授)
館 健一(四国大学文学部 日本文学科講師)

賞

大賞
1点

優秀賞
3点

奨励賞
6点

◎各賞の受賞者10名には、3年生は本年度から、1・2年生は次年度以降の「**四国大学分野別特別入試B区分**」の受験資格が与えられます。本入試を受けて四国大学に入学されますと、**毎年40万円の特別奨学金(返還義務無し)**が4年間給付されます。

◎大賞については、受賞者の言葉と受賞作品を徳島文学協会発行の文芸雑誌「徳島文學」に掲載します。

※類似作は受賞を取り消す場合もあります。

審査結果

2022年11月中旬までに受賞者へ通知します。
四国大学HPにて最終選考結果を公開します。

応募方法

裏表紙の応募用紙に必要事項を記入してください。
◎応募用紙はコピーして原稿の一番上に添付して送付してください。
◎応募用紙は四国大学HPからもダウンロードできます。

パンフレット
データ版はこちら



募集期間

2022年7月1日~9月10日
(当日の消印有効)

送付先

〒771-1192
徳島県徳島市応神町古川
四国大学文学部 日本文学科「瀬戸内寂聴青春エッセイコンクール」係

応募に関するお問い合わせ

日本文学科 佐々木 義登 e-mail y-sasaki@shikoku-u.ac.jp



主催 四国大学

入試に関するお問い合わせ

四国大学入試課 TEL.088-665-9908

協賛 徳島文学協会 <https://www.t-bungaku.com/>